

東洋新薬



世界中の人々の

美と健康に

ODMカンパニーとして

貢献する

生

きている限り健康で美しくありたいと望むのは人間の根元的な願いでしょう。か

かってしまった病気を治す前に、そもそも病気にかからないようにする……予防医学の重要性に対する異論は少ないと思われず、私たちはこの予防医学の概念を、

東洋新薬という社名に託しました。「東洋」に、漢方に象徴される自然治癒力の思想を、そして「新薬」に、予防医学の骨格である科学的根拠に基づいた開発の思想を込めたのです。世界中の人々が共通に抱く美と健康への願いに正面から向き合い、健康食品と化粧品の実業分野で明快な回答をお届けする企業であろうと決意しました。

東洋新薬が持てる経営資源を研究開発に集中して出発したのもこのためです。数年後には独自の商品製造能力をも整備し、この事業インフラの上に、ODMカンパニー

というわが国では希少なビジネスモデルをスタートさせました。

ODM (Original Design Manufacturing) はお客様ブランド名での受託製造という点ではOEM (Original Equipment Manufacturer) と重なりますが、川上が異なります。OEMがお客様の商品仕様で、製造のみを受託するのに対し、ODMでは商品コンセプトと商品仕様をご提案するのです。しかも、当社ではこれに流通施策や販売促進施策などの川下のサポートを加えました。消費者の皆様に商品を繰り返し購入していただいて、定番に成長するまでのトータルソリューションをご提供する、40 BroCCの業態を構築したのです。

このモデルならば、さまざまなお客様企業とアライアンスを組むことで、自社の経営資源の制約にとられずに世界中の人々の美と健康に貢献できます。「高品質の健康食品・化粧品を提供することで世界を癒す」という当社のミッションを、自社単独よりもはるかに力強く遂行できるのです。

ただし、そのためにはODMカンパニーとしてのコアコンピタンス

代表取締役



服部 利光 / Toshimitsu HATTORI

1956年生まれ。
1987年名城大学商学部卒業後、
オリエンコーポレーション入社。
1993年セブンシーズを設立。
1997年東洋新薬を設立し社長に就任。

が強靱でなければなりません。当社は工場の要員を除いた従業員の約半数が研究開発に携わるR&Dオリエンテッドの企業であり、健康食品の分野ではわが国で最初に工場にFDA-GMP(米国食品医薬局が定めた製造管理及び品質管理基準)を導入した企業でもあります。また、お客様企業の販促活動を、ワールドマーケットがお手伝いしています。独自の機能性素材の集積や157品目を超えるトクホ(特定保健用食品)の許可取得は、そうした取り組みの果実なのです。直近では新たにメーカー事業を業容に加え、自らのブランドで商品を製造販売していく予定です。これにより当社の事業は健康食品と化粧品品のODMの2軸から4軸になるわけですが、当社の狙いはあくまで、財務や在庫などのメーカーリスクを引き受けつつ新たな市場を開拓する際に集積するノウハウを、お客様企業に還元することにあります。いわばODMの最進化形。東洋新薬はODMカンパニーという基本軸を貫いて、世界中の人々の美と健康の願いに応えます。

制作・東洋経済広告企画制作部